

過去問題の解答例

第一に、二酸化炭素をほとんど排出しないため地球にやさしい。第二に、資源コストが安く、経済的である。第三に、資源の存在量が無限で、利用し続けることができる。第四に、一般の人びとも参加できる発電方法のため、エネルギー問題に国民が関心を持つようになる。第五に、国同士の化石燃料の奪い合いを減らすことができ、世界平和にも貢献できる。最後に、ドイツの例のように、雇用創出などの経済効果も期待できる。(194文字)

[ポイント解説]

この設問は、模擬授業のスライド【46 番】の表とその前後の話をまとめることがポイントでした。問題文を読むと「さまざまな意義を」と求められているので、さまざまに書いてください。

解答例には、全部で 6 つの意義が 200 文字以内で記述されています。さまざまに書くためには、一つひとつを簡潔に、短い文でまとめることが要求されます。この設問では、ものごとを簡潔にまとめて記述する力が求められています。やってみるとわかると思いますが、文章を書く力がないと、たった 200 文字で 6 つのことを書くことは案外難しいです。

もう一度、模擬授業のスライド【46 番】をご覧ください。このような、まとめや比較のための表や図が出てきたら要注意です。まとめの表や図は、授業のポイントを整理するためのものですから注意しなくてはならないのは当たり前です。より注意してほしいのは、表や図には、必要な最低限の言葉だけしか使われていないということです。「大」「小」、「有限」「無限」など、ごく簡略化されたフレーズで構成されているのが見て取れると思います。つまり、表や図に書かれた文字だけを見ても、そこから得られる情報量は実際には少ないのです。少ない情報量で答案を作成しようとしても、うまく文章を書くことは難しいです。

図や表が出てきたら、そこから直接得られる情報は実は少ないので、先生の口頭での解説を注意深く聞いて、しっかりメモを取ることが大事です。メモを取っておかないと、答案作成の時に困ってしまいます。

さて、国際交流学部 of 秋期特別入試について、どのような勉強をすればいいですか？とよく聞かれます。小論文対策と同じと考えてください、と答えるようにしています。

小論文は、文章で書かれたものを読んで答案を作成する。本入試は、授業を耳で聞きとって答案を作成する。目で読むか、耳で聞くかの違いです。与えられた情報を整理して、論理的な文章で答案を書くという点は共通しています。

したがって、小論文対策の参考書を使った勉強はとても有効です。秋期特別入試では、200 字から 300 字程度でまとめさせる出題が多いです。小論文の参考書の中から、指定された文字数が短めの問題をピックアップして、練習してください。模擬授業は日本語なので、あなたも他の受験生も、同じように聞き取ることができます。英語のリスニングと違って、聞き取りで差をつけることはできません。他の受験生と差がつくのは文章力です。これらの点を参考に、対策を進めてください。